

愛 総 企 第 2 8 号

平成20年10月8日

国土交通省道路局長 殿

愛別町長 矢 野 宣 行



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号につきまして、別紙の
とおり回答しますのでよろしくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

北海道 愛別町

今後の道路行政については、設計・計画段階から維持管理に至まで、一層厳格にコスト縮減に取り組むことはもとより、人命や医療など緊急性にも視点を置き、安全で安心な暮らしを確保するための道路整備を計画的に進めていくことを要望します。

○現状

愛別町の道路体系は、旭川～網走を結ぶ国道39号線と道道下川愛別線、愛別当麻旭川線、比布愛別停車場線、中愛別上川線、愛山深上川線の道道5路線があり、町道がこれらと結び合って交通体系を構成している。平成16年3月には、旭川紋別自動車道比布JCTから愛別ICまでの9.3kmが開通し、平成16年10月には、愛別ICから愛山・上川ICまでの10kmが開通、平成18年には愛山・上川ICから上川・層雲峡ICまでの7kmが開通し、愛別町も高速化の時代を迎えています。連休時には国道の開通に伴い渋滞のないう道路空間が確保されていますが、高規格幹線道路の開通に伴い渋滞のないう道路空間の通行車輛が減少し、地域産業経済に影響を与えています。

○課題

今後は、現状を踏まえ関係機関との連携により住民の要望に沿った魅力あるまちづくりに努めなければならない。

愛別町は、北海道のほぼ中央に位置しており、高規格道路のＩＣがあるという利便性を活用し、日常生活における人の移動や都市部との交流および地域間交流はもとより、農産物の輸送など産業活動に有効活用し、地域経済の活性化を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
計画的・効率的な維持管理や更新の推進	スマートＩＣの整備	高速道路のＩＣ間隔はほとんどが１０ｋｍ以上であり、スマートＩＣを整備することにより、ＥＴＣ登載車輛の普及、高速道路の利便性を向上させ、既存道路の有効活用が地域経済の活性化を図ることができる。	

様式④

北海道 愛別町